

木

THE ADACHI FOUNDATION
FOR THE PRESERVATION OF WOODCUT PRINTING

アダチ伝統木版画技術保存財団レポート

令和
7
年度版

版

adachi

① 研究等奨励交付事業

伝統木版画の制作技術に関する
調査研究等の奨励

本年度は、絵画部門（木版画の版下絵等の作品公募）に焦点を当てた公募「第17回アダチUKIYO大賞」を実施し、既存の奨励賞募集とあわせて実施した。審査は昨年度に続き、応募者がこれまでに制作した作品を紹介するポートフォリオにより行った。公募は、公募専門ウェブサイト（日・英、雑誌、本財団ウェブサイト（日・英）を通じて告知した。その結果、64か国から395件の応募があり、審査委員会において、大賞1件（奨励金30万円）、優秀賞1件（奨励金15万円）、佳作2件（奨励金各5万円）を選考した。大賞・優秀賞の受賞作品は、令和8年度に木版画として制作する予定である。

◆第17回 アダチUKIYO大賞受賞作品

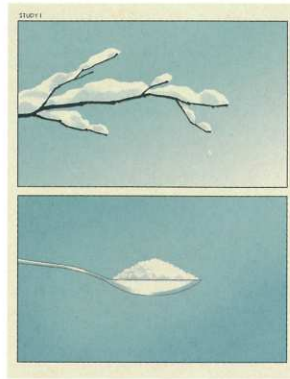
〈大賞〉賞金30万円＋木版画として制作 丁子紅子

〈優秀賞〉賞金15万円＋木版画として制作 Anuj Shrestha

〈佳作〉賞金5万円 勝倉大和 荒井かれん



「破片。」
大賞 丁子紅子 ポートフォリオ作品から



「Study I」
優秀賞 Anuj Shrestha ポートフォリオ作品から

「選考委員」

小山 登美夫 ギャラリスト

三井田盛 郎 東京藝術大学 美術学部絵画科 教授

山下 裕二 明治学院大学 文学部芸術学科 教授

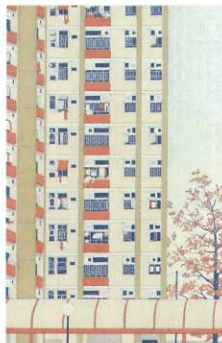
中山 浩子 (公財)アダチ伝統木版画技術保存財団 理事長

◆第15回・第16回 アダチUKIYO大賞受賞作品

各受賞者との打合せを経て、本財団の研修を終えた若手彫師・摺師が木版画として制作し、現代の浮世絵として完成した。



完成木版画作品(第15回 優秀賞)
中島華映「水底に沈む青」



完成木版画作品(第16回 優秀賞)
Carmen Ng「Neighborhood」

② 後継者育成事業

伝統木版画の制作後継者の
育成事業

高度な専門技術の習得を目的とする「高度技術者研修」事業については、本年度は適性を有する該当者が無かったため、研修の実施を見送った。また、第29期高度技術研修生の採用に向け、令和7年5月から12月まで募集を行い、3名の応募者の中から、選考により第29期高度技術研修生(前期)1名の採用を決定した。次年度以降は、ワークショップの回数を増やすなど、伝統木版画に深い関心を持つ学生等が応募しやすい環境を整える。

◆第29期高度技術研修生(前期/彫師) 中嶋みと葉
◆技術研修所/東京都新宿区下落合3-13-17

③ 技術実演・研修事業

(1) 技術実演会

本財団では、木版画の制作現場を見学したいという多くの要望に応え、本財団常設展示場での定期実演会に加え、教育機関、美術館・博物館等からの依頼により、本財団スタッフ(解説員・彫師・摺師)を講師として派遣する「技術実演会」を行っている。本年度は、国内の美術館・博物館で開催される浮世絵展にあわせ、技術実演の依頼を10件程度受けた。また、平成9年10月から年数回土曜日に実施している本財団常設展示場での「浮世絵版画実演会」では、摺りの実演を3回、摺り体験付きの実演を親子向けと一般向けに各1回、計5回実施した。

◆千葉市美術館

摺師による浮世絵版画「歌川広重 月に雁」の摺り実演を行い、あわせて伝統木版画に関する道具や制作工程の説明、質疑応答、体験を実施した。

「日程」 令和8年2月14日

「場所」 千葉市美術館

「参加者数」 約200名



千葉市美術館 摺り実演会風景

◆伝統木版画実演会の実施状況

すみだ北斎美術館、太田記念美術館、多摩美術大学、東京藝術大学版画研究室、千葉市美術館、日英協会ほか

(2) 研修事業

職人に学ぶ木版画教室

木版画に強い関心を持つ一般の愛好家を対象に、初級技術を学ぶ「職人に学ぶ木版画教室」を、昨年度同様、全2回の1クラス定員20名で実施した。参加者は講師の指導を受けながら、自作の絵をもとに木版画作品を制作した。

「日程」 令和7年9月27日、10月11日 計2回開催

「場所」 本財団常設展示場

「参加者数」 20名

「講師」 彫師/長谷川博美(アダチ版画研究所所属)

摺師/京増与志夫(本財団評議員)



木版画教室 彫指導風景

インターンシップ型研修会

後継者育成事業の研修対象者を選抜するため、インターンシップ型研修会を実施し、6名が参加した。

「日程」 令和7年8月25日～8月28日(4日間)

「場所」 本財団常設展示場

「参加者数」 6名

「講師」 彫師/長谷川博美(アダチ版画研究所所属)

摺師/京増与志夫(本財団評議員)



インターンシップ型研修会 研修風景

④ 技術展示紹介事業

伝統木版画の総合施設として
制作技術等に関する資料の公開

本財団では、浮世絵の複製版木約1,200点をはじめ、文献資料や、伝統木版画の道具・材料・制作工程に関する資料の整理・保存を進めている。これらは、江戸時代から受け継がれてきた木版画技術を知るうえで欠かせない資料であり、近年、伝統木版画に関心を持つ個人や団体が本財団の常設展示場を訪れる機会も増えている。特に本年度は、NHK大河ドラマ「べらぼう」をきっかけに浮世絵への関心が高まり、来場者や展示資料の貸出依頼が大きく増加した。常設展示場では、歌麿・写楽の浮世絵複製版や現代木版画を紹介する企画展のほか、「職人に学ぶ木版画教室」の作品展示会を開催し、参加者の成果を紹介した。さらに4月には、東京国立博物館表慶館において、本財団共催による「浮世絵現代」展を開催した。国際的に活躍するアーティストと、本財団が連携する職人との協働によって制作された現代木版画を一堂に展示し、伝統木版画の技術が現代の表現へと広がる姿を紹介した。このほか、各地の美術館・博物館で開催された浮世絵展にあわせ、展示資料の貸出や体験用版木の制作にも協力した。

◆展示品および資料の貸出し

浮世絵版画摺り順序、彫摺道具一式 全5件

◆企画展「複製版で体感！歌麿・写楽のキラキラの魅力」

浮世絵版画の制作において、絵師・彫師・摺師を取りまとめた、出版・販売を担った「版元」に着目した企画展を開催した。特に、NHK大河ドラマ「べらぼう」の主人公で、代表的な浮世絵版元である鳥屋重三郎の創意工夫として、背景に雲母を用いる「キラ引き」の技法を紹介した。会期中に全8回のギャラリートークを行い、いずれも満席となるなど、高い関心を集めた。

「期間」 令和7年10月21日～11月22日

「場所」 本財団常設展示場

「来場者数」 1,020名

(日本人905名、海外居住者115名)

《ギャラリートーク》

「日程」 令和7年10月24日、11月1日、11月5日、

11月15日、11月19日 5日間全8回

「参加者数」 各回定員15名



展示風景



ギャラリートーク風景

◆「職人に学ぶ木版画教室」作品展示会

「期間」 令和7年12月16日～令和8年1月17日

◆「浮世絵現代 UKIYO E IN PLAY」

令和7年4月22日から、東京国立博物館表慶館において、本財団共催による展覧会「浮世絵現代 UKIYO E IN PLAY」が開催された。本展では、江戸時代から受け継がれてきた浮世絵版画の制作技術による現代木版画162点を、全5章の構成で紹介し、会期中に8万3千人を超える来場者を迎えた。なかでも、本財団の「現代の浮世絵・国際創造プロジェクト」に招聘された国際的に活躍するアーティストと、本財団が連携する彫師・摺師との協働作品が一堂に展示された第4章では、伝統技術と現代美術が交わる多彩な表現を紹介した。さらに、アダチUKIYO大賞の受賞作品や、後継者育成事業、技術の保存・普及活動に関する資料も展示し、本財団が長年取り組んできた活動を総合的に発信する機会となった。会期中には、特別イベントとして浮世絵版画の摺り実演を行い、来場者に職人の技を間近で紹介した。

「会期」 令和7年4月22日～6月15日

「会場」 東京国立博物館表慶館

「入場者数」 83,203人

「展示件数」 木版画163作品、関連資料映像資料ほか



表景館外観風景

⑤ 情報提供事業

本年度は、国内外の浮世絵展におけるDVD「匠達の技（和英二万語版）の放映依頼をはじめ、伝統木版画に関する多くの問い合わせを受けた。また、事業成果や活動状況を伝える「財団レポート木版—令和6年度版—」を発行し、無償配布した。

◆ 画像の貸出

株式会社大阪宣伝研究所、株式会社日本入試センター、株式会社インプレス、株式会社ノーウェア 他約30件

⑥ 木版画制作監修事業

本事業は、伝統木版画の制作技術の高い水準で維持・継承するため、浮世絵の復刻にとどまらず、さまざまなジャンルのアーティストを絵師として迎え、彫師・摺師との協働により新たな木版画を制作し、その可能性を広げるものである。本年度は、世界的に活躍するNick Walker氏、Alex Dodge氏、ロッカクアヤコ氏、Robert Lazzarini氏、宮崎優氏、Teabee氏、町田久美氏の作品を、第一級の技術者により木版画として制作した。また、賛助会員への進呈作品として、アダチUKIYO E大賞受賞者の中島華映氏（第15回優秀賞）とCamden Zeno氏（第16回優秀賞）から作品の提供を受け、木版画を制作した。

◆ Nick Walker「Tokyo Nectar」（令和7年7月）

〔画面寸法〕 天地5005mm×左右360mm

〔制作担当〕 彫／岸 千倉

摺／長沼翔太（アダチ版画研究所所属）



◆ Alex Dodge「Ozymandias」（令和7年8月）

〔画面寸法〕 天地360mm×左右270mm

〔制作担当〕 彫／岸 千倉

摺／長沼翔太（アダチ版画研究所所属）



◆ ロッカクアヤコ「無題3」（令和7年9月）

〔画面寸法〕 天地330mm×左右525mm

〔制作担当〕 彫／岸 千倉

摺／岸 翔子（本財団評議員）



◆ 宮崎優「黄昏」（令和7年11月）

〔画面寸法〕 天地352mm×左右240mm

〔制作担当〕 彫／長谷川博美（アダチ版画研究所所属）

摺／岩崎果乃女（アダチ版画研究所所属）



賛助会員募集のお知らせ

本財団では、伝統木版画の技術を保存・継承するために、さまざまな活動をおこなっています。この活動を一般の皆様方より支援していただくために、賛助会員制度をもうけ、広く会員を募集しています。

賛助会員の案内はこちら➡



私たちの活動を支援して下さる方を募集しています。

- | | |
|-------|---|
| 【種 別】 | 個人会員・法人会員 |
| 【年会費】 | 個人会員 1口 2万円・法人会員 1口 10万円
4～9月入会は翌4月末、10～3月入会は翌10月末までが会員期間 |
| 【特典】 | <ul style="list-style-type: none"> ◎木版画作品の進呈（1口あたり個人会員1点・法人会員5点）
その年度内に制作された現代作家の木版画作品と新たに制作した版木、また本財団所有版木より制作された木版画作品の中から、希望の作品を進呈します。 ◎展覧会・定期実演会・版画教室などへの特別優待
本財団が主催・協賛・後援をする展覧会、定期実演会、版画教室などへ特別ご優待します。 ◎常設展示場・情報センターの利用
常設展示場における展示・資料文献などを自由に閲覧いただけます。 |



問合せ・資料請求先

（公財）アダチ伝統木版画技術保存財団事務局
東京都新宿区下落合3-13-17
Tel. 03-3951-1267 Fax. 03-3951-2137
E-mail: adachi@adachi-hanga.com
<http://www.adachi-hanga.com>

＜編集後記＞

令和7年度は、NHK大河ドラマ「べらぼう」の影響により、全国各地で多くの浮世絵展が開催され、浮世絵の制作技術への関心も高まった一年でした。そのような年に、本財団の母体であるアダチ版画研究所がこれまで制作してきた現代木版画を一堂に紹介する展覧会「浮世絵現代 UKIYO-E IN PLAY」を、東京国立博物館 表慶館において共催し、8万3千人を超える皆様にご覧いただけたことは、本財団にとって大きな出来事となりました。来年度以降も、浮世絵とその制作技術への関心をさらに深めていただけるよう、活動に取り組んでまいります。